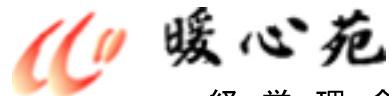


ひだまり

2011年(平成23年)6月20日発行 第42号

〒134-8625 東京都江戸川区北葛西4-3-16 暖心苑



暖心苑

経営理念

- 一. 暖かい心と笑顔で、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- 一. 暖かい心と笑顔で、生きがいのある安心した生活が送れるよう支援します。
- 一. 地域との連携により、熟年者等の福祉・健康づくりを推進します。
- 一. 専門的な知識と技術をもった職員を育成します。

南三陸町 社会福祉協議会に 法人公用車を寄贈しました



『車が足りない!!』



寄贈車両 平成16年式トヨタ ノア8人乗り

今回の巨大津波によって失われた車両は20万台を超えるそうです。その中には復興に不可欠な行政関係の車両も含まれています。特に福祉車両は最優先に手当てが必要と云われています。被災地からのSOSを受けた日本財団さんが、全国の福祉施設に声をかけ、過去に財団が補助をして購入した車両の提供を募りました。暖心苑でも被災地への支援を考えていたところでしたので、すぐに手挙げをし南三陸町 社会福祉協議会さんに車を寄贈することになりました。事前に入念な準備をし5月27日勇躍現地まで苑公用車を陸送致しました。苑の車が被災地で活躍してくれればこんなに嬉しいことはありません。

デイサービスセンター所長就任挨拶

所長 藍野 勇

平成二十三年四月から前任の及川所長の退任に伴い、所長に就任しました藍野（あいの）でございます。「笑顔で楽しく」過ごしていただけるよう職員一同皆様と一緒に事業を進めさせていただきますので、前任者同様よろしくお願い致します。

私は、平成九年より当苑の特養から在宅部門に異動になり、昨年度までは地域包括支援センター長として勤務し、地域の皆さんと関わらせていただいておりました。

今後も当苑を利用されている方やご家族、地域の方々に「協力いただき、専門的な知識と技術を持つた職員が「暖かい心と笑顔で」生きがいのある安心した生活が送れるよう支援を行い、暖心苑が地域の一部としてあり続けられるよう努力してまいります。

就任に伴い、地域包括支援センターも高橋京子課長を筆頭にメンバーが替わりましたので、どうぞよろしくお願ひいたします。

1 事業経営の安定化に向けての経営基盤の確立・強化

特養は各種加算の取得や待機者の早期入所等に努めたものの、退所者及び入院者の増加により目標値を下回る結果となつた。ショートステイ事業は、新規利用者の積極的な獲得や直前キャンセル時の待機利用者への斡旋等により、目標を達成することが出来た。デイサービスは、利用者からの利用率が下がり、目標を達成することが出来なかつた。

| | | 事 業 | | 二十二年度 目標値 | 実 績 |
|---------------------------------|-------|----------|-------------------|--------------|-------|
| 特別養護老人ホーム (通所介護 (デイサービス)) | | 短期入所生活介護 | 一般通所 認知症 介護 | | |
| 六〇、〇% | 八〇、〇% | 一一四、〇% | 九八、七% | 九七、三% | 九七、一% |
| 五六、六% | 七五、〇% | 一一四、八% | 九七、三% | 九七、三% | 九七、一% |

(1) 利用実績

(2) 在宅支援事業の拡充

ア 通所介護(介護予防)事業及び地域密着型事業の利用者の増加

通所介護事業は猛暑による体調不良が続いたことやショートステイ利用増加により利用回数が減少した。予防通所介護・地域密着型事業は、若干ではあるが利用者の増加ができた。

イ 地域包括支援センター事業の取り組みの充実

定期的に日配り訪問対象者に対し、訪問・電話等を行い孤独死防止に努めた。

ウ 介護予防事業の拡充

予防プランが前年度比77件増加し、利用者の自立支援を促進した。

エ 利用者アンケートの実施

通所介護(介護予防)事業及び地域密着型事業の利用者及びその家族に対して、アンケートを実施し、利用者・家族の声を反映し新しいプログラムの取り入れ等を行つた。

2 利用者サービスの質の向上

(1) 利用者の安全対策

ア 事故予防対策の実施

リスクマネジメント委員会が核となり関係職種の職員が連携して、職員への周知徹底・教育を図つた。

イ 感染症管理対策の実施

感染症対策委員会が核となり関係職種の職員が連携して、感染症の予防に努めた。

また、流行期には全職員へのマスク着用の義務付けや、面会者等へも予防・まん延防止のための協力を依頼し、感染症の発症は予防出来た。

ウ 身体拘束廃止への取組み

緊急やむを得ない場合を除いて身体拘束をしないための取り組みを、身体拘束廃止委員会が核となり関係職種の職員が連携して実施した。

(2) 利用者への医療対策

ア 医療・看護体制の確保
配置医師の医療体制及び看護職員の夜勤による24時間の看護体制の確保(月4回程度、オンコール実施時以外)のほか、必要に応じて協力病院・近隣の各病院に受診し、診断・治療を行った。

イ 看取り介護の実施

「看取り介護に関する指針」に基づき、「利用者本人の意思及び家族の意向を最大限に尊重して看取り介護を実施した。

ウ 褥瘡予防への対応

「褥瘡対策指針」に基づいて、早期の褥瘡・皮むけ発見・予防及び治癒に努めた。尚、研修等により褥瘡・皮むけへの理解を深めた。

3 経営の透明化及び情報公開

(1) 東京都実地検査

今年度は、東京都福祉保健局指導監査部による実地検査が実施された。

施設見学及び各種書類確認・ヒアリング等の結果、文書指摘事項の通知を受けたため、経営会議を中心に各種會議にて協議し、改善状況報告書を提出した。

5 人材育成・専門性の向上

平成22年8月から11月にかけて「利用者調査および家族アンケート」を実施した。

(2) 第三者評価の実施

平成22年10月に訪問調査を受け、「どうきょうう福祉ナビゲーション」に平成22年11月に公開した。

4 地域との連携強化

(1) 地域支援ネットワーク事業の推進
地域行政機関・団体及び地域住民等の多様な社会資源と協働しながら、地域支援ネットワーク事業を実施した。

(2) ボランティア・見学者・実習生等の受入れ

| ボランティア活動 | 延べ 三七六三人 |
|----------------|----------|
| 要請校等の実習 | 延べ 三三一人 |
| 訪問受け入れ・体験学習・見学 | 延べ 六四四人 |

6 施設建物、設備機器、備品の維持・管理

利用者の住環境の整備及びサービス向上の一環として、カラオケ機器の購入・送迎バスの購入・階段居室他カーテン交換・空調設備洗浄工事・内装改修工事を実施した。その他東京都の大規模改修費補助事業の申請を行つた。

| 施設外研修 | 二六回 |
|-------|------|
| 施設内研修 | 二四五人 |

| 費用 | 一、三六五、〇〇〇円 |
|----------|-------------|
| カラオケ送迎バス | 三、五六〇、〇〇〇円 |
| カーテン | 一、三五四、二六〇円 |
| 空調洗浄 | 六、九八二、五〇〇円 |
| 内装改修 | 一二、九一五、〇〇〇円 |

平成22年度 決算報告

(単位:円)

貸借対照表(総括)

| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
|------------|---------------|-------------------|---------------|
| 資産の部 | | 負債の部 | |
| 流動資産 | 281,601,400 | 流動負債 | 35,206,280 |
| 現金預金 | 175,909,380 | 未払金 | 33,046,794 |
| 未収金 | 105,419,562 | 預り金 | 2,159,486 |
| 未収補助金 | 0 | 仮受金 | 0 |
| 立替金 | 0 | | |
| 前払金 | 0 | | |
| 仮払金 | 272,458 | | |
| 固定資産 | 1,915,648,294 | 固定負債 | 40,385,440 |
| 土地 | 643,831,622 | 退職給与引当金 | 40,385,440 |
| 建物(基本財産) | 515,943,113 | | |
| | | 負債の部合計(A) | 75,591,720 |
| 建物 | 50,015,500 | | |
| 構築物 | 8,630,233 | 基本金 | 990,902,019 |
| 車両運搬具 | 9,573,253 | 国庫補助金等特別積立金 | 401,139,076 |
| 器具及び備品 | 68,551,798 | その他の積立金 | 578,717,335 |
| 施設建替資金積立預金 | 124,000,000 | | |
| 修繕積立預金 | 219,640,765 | | |
| 備品等購入積立預金 | 53,400,000 | | |
| 人件費積立預金 | 38,000,000 | 次期繰越活動収支差額 | 150,899,544 |
| 施設整備積立預金 | 66,800,000 | (うち当期繰越活動収支差額) | -10,653,681 |
| 振興費積立預金 | 40,824,000 | | |
| 移行時特別積立預金 | 36,052,570 | | |
| その他の固定資産 | 40,385,440 | | |
| | | 純資産の部合計(B) | 2,121,657,974 |
| 資産の部合計 | 2,197,249,694 | 負債・純資産の部合計(A)+(B) | 2,121,249,694 |

事業活動計算書(総括)

| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 | |
|---------------------|-------------|----------------|----------------|------------|
| 介護福祉施設介護料収入 | 431,363,014 | 特別 収支 の部 | 施設整備等補助金収入 | 3,560,000 |
| 居宅介護料収入 | 120,679,353 | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | 0 |
| 居宅支援介護料収入 | 28,053,186 | | 他会計区分繰入金収入 | 6,800,000 |
| 利用者等利用料収入 | 93,842,830 | | その他の特別収入 | 0 |
| その他の事業収入 | 58,773,487 | | 特別収入計⑧ | 10,360,000 |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | 24,298,122 | | 国庫補助金等特別積立金繰入額 | 3,560,000 |
| 事業活動収入計① | 757,009,992 | | 固定資産売却損 | 546,615 |
| 人件費 | 509,361,875 | | 他会計区分繰入金支出 | 6,800,000 |
| 経費(直接介護費) | 97,890,495 | | その他の特別損失 | 0 |
| 経費(一般管理費) | 94,814,903 | | 特別支出計⑨ | 10,906,615 |
| 減価償却費 | 46,123,530 | | 特別収支差額⑩=⑧-⑨ | -546,615 |
| 減価償却費 | 4,859,578 | | 当期活動収支差額⑪=⑦+⑩ | 7,096,654 |
| 事業活動支出② | 753,050,381 | | | |
| 事業活動収支差額③=①-② | 3,959,611 | | | |
| 借入金利息補助金収入 | 0 | | | |
| 受取利息配当金収入 | 977,680 | | | |
| 寄付金収入 | 2,403,880 | | | |
| 雑収入 | 96,317 | | | |
| その他の事業活動外収入 | 4,200,100 | | | |
| 事業活動外収入計④ | 7,677,977 | | | |
| 利用者負担軽減額 | 39,719 | | | |
| その他の事業活動外支出 | 3,954,600 | | | |
| 事業活動外支出計⑤ | 3,994,319 | | | |
| 事業活動外収支差額⑥=④-⑤ | 3,683,658 | | | |
| 経常収支差額⑦=③+⑥ | 7,643,269 | | | |
| 前期繰越活動収支差額⑫ | 161,553,225 | | | |
| その他の積立金取崩額⑬ | 24,193,665 | | | |
| その他の積立金繰入額⑭ | 41,944,000 | | | |
| 次期繰越活動収支差額⑯=⑪+⑫+⑬-⑭ | 150,899,544 | | | |

内装工事を行いました・・・



2月3月にかけて、前回改修後10年を経過した内装をリフォームしました。今回行った工事は、居室天井、壁のクロス張替え、廊下天井、壁のクロス張替えと塗装。玄関靴入れの新調、各フロアの物入れ修理新調。そのほかドア枠の塗装と館内のあちらこちらに手を入れました。特に利用者さんの生活空間に使ったクロスは消臭効果が高く、安全な防火素材の物を厳選しました。雰囲気がすっかり変り、より明るくなったと利用者さんにも大変好評でした。

今年度下半期には、外壁、空調設備、エレベーターなどの工事を行う予定です。暫くの間ご不便をおかけするかとは思いますが。ご協力の程よろしくお願ひ致します。

デイサービス送迎バス「ふれあい号」が新しくなりました!!

デイサービス送迎用バスが10年を経過し老朽化が進み、送迎に支障をきたしてきたため、新車導入の運びとなりました。過去にもいろいろ支援して頂いている日本財団さんから一部補助を戴き、日産自動車のマイクロバス「シビリアン」が3月17日に納車されました。新車導入により振動も騒音も少なく乗り心地も格段に良くなり、快適な送迎が出来るようになりました。日本財団さんありがとうございました。



ひな祭りホーム喫茶開店

3月3日 恒例のホーム喫茶が開店しました。おひなまつりらしいケーキと、コーヒー、紅茶にジュース。華やいだ雰囲気で会話を弾みます。



ボランティア団体
「在宅福祉グループ」の皆さん

デイサービスセンター 「ふれあい」便り

最近のデイサービスの流行「手作りおやつ」みんなで作って楽し、食べて美味し、二度おいしい午後のひととき。男性陣も頑張ってます。



中学生の職場体験「チャレンジ ザ ドリーム」緊張でカチコチ!! でも慣れればけっこう楽しいです。
いい経験になったなぁ~



習字、ちぎり絵作品集
だんだん上手になります。
80の手習い????

熱中症に注意！ 高齢者に多い発症

高齢者が熱中症になりやすい3つの原因は、

- (1)体温調節能力の低下
- (2)水分の摂取量が少ない
- (3)水分が出てしまうことがあります。

人がのどの渇きを自覚するのは、体重の3%近く水分が失われてからです。

基本的には、夏場や運動時以外は、飲みたい時に飲む方法で問題ありませんが、熱中症の対策としては、2時間置きに起床から就寝まで、定時の水分補給を習慣にすること。手が届く所に、水分の入ったコップを置いておくだけで、水分摂取量が大幅に増えます。無理して飲まずに、一口ずつ飲むだけで、水分摂取が習慣になります。外出時、直射日光には、なるだけ当たらないように帽子などをかぶり、1時間に1回は休憩して。特に暑い日中はできるだけは外出を避けてください。高齢者は冷房を嫌がる傾向にありますが、暑さによる体への負担は想像以上なのであまり我慢せずに適当に冷房も利用してください。

夜のトイレを嫌がり、水分を取らない人もいますが、夜中に2,3回トイレにいくのは普通です。あまり気にせず、水分補給をしてください。

屋内での注意も必要です。熱中症患者の約3割は安静時に発生しています。

室内でも高温多湿、無風の場合は、熱を体外に放出できないので危険です。日差しが当たらないからと安心せず、冷房や除湿機、扇風機なども適当に利用しましょう。

外出行事 葛西臨海公園・水族園

6月14日、朝小雨が降っていましたが、日頃の行いが功を奏して？出発時には曇り空に。暑からず寒からず、外出には絶好の天気となりました。利用者さんだけでなくご家族、職員もたっぷり半日楽しんできました。気分転換には外出が一番ですね。

レストランの食事もおいしかったあ～～



食事の調理業者 変わりました

四月より、毎日のお食事を担当することになりました「株式会社ワールドワイドフーズ」です。

旬の食材や地域で採れた野菜等を用いて、美味しいお食事を利用者様にお届け致します。どうぞお楽しみに！ 皆で協力し、頑張っていきますので、よろしくお願ひいたします。

平成23年度 永年勤続表彰者の紹介

このたび永年勤続表彰を受賞させていただきました。これも偏に、当苑をご利用くださる皆様やご協力いただく関係者の皆様をはじめ、全職員のご協力とご理解の賜物であると思っております。今後も、笑顔と感謝の心を胸に業務に邁進してまいります。よろしくお願いいたします。

東日本大震災、被災者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます

23年3月11日(金)14時46分に「東北地方太平洋沖地震」が発生しましたが、幸い暖心苑では、人的被害も建物・設備の損傷もありませんでした。エレベーターが緊急停止しましたが、夕方までには復旧し何とか業務を継続できました。デイサービスもガソリン不足の不安の中、一日も休まずにサービスを続けることが出来ました。

まだまだ余震の心配や、停電・節電の備えが必要な状況が続きます。ご面会等の皆様にもエレベーターの使用制限や間引き照明等でご迷惑をおかけしていますが、国民みんなでこの苦難を乗り越えていきましょう。ご家族の皆様には、施設の運営に今以上のご理解ご協力を願い申し上げます。

～東日本大震災義援金のお礼～

このたびは、義援金にご協力いただき、誠にありがとうございました。

暖心苑では62,707円の義援金が集まり、全国老人福祉施設協議会を通じて被災地へ届けられました。暖心苑からは法人10万円、職員会から10万円の義援金を寄付致しました。今回の皆さまのご厚意に心より感謝するとともに、引き続いての暖かいご支援を合わせてお願い申し上げます。

《これからのおもな行事予定》

1月28日：納涼盆踊り大会～1階ふれあいホール

8月21日：ビアホール～1階ふれあいホール

9月18日：笑顔いっぱい「暖心苑まつり」～1階ふれあいホール

通信欄

様のご家族へ (記入日: / 日)

利用者担当

編 集 後 記

東日本大震災以来、日本のみならず世界中で人々の価値観が揺らいでいます。特にエネルギー問題については改めて考えるいい機会となりました。この大災害をきっかけに虚飾や驕りを捨て、本当の幸せとは??今一度考えてみるのも良いかも知れません。

社会福祉法人 東京清音会
特別養護老人ホーム 暖心苑
暖心苑デイサービスセンター
暖心苑さわやか相談室指定居宅介護支援事業所
地域包括支援センター暖心苑さわやか相談室
〒134-8625
東京都江戸川区北葛西4-3-16
TEL 03-3877-0100 FAX 03-3877-0188
TEL 03-3877-0181 (さわやか相談室直通)
<http://www.danshinen.org/>